



鶴居村

つるい 議会だより

子ども達の笑顔と未来のために



めざせ160km

(8月3日札幌ドーム・8月5日帯広の森野球場にてファイターズ観戦)

6月定例会・・・・・・・・・・P2～P5

平成26年度補正予算Q&A・・・・・・・・・・P6～P7

5人が村政を問う

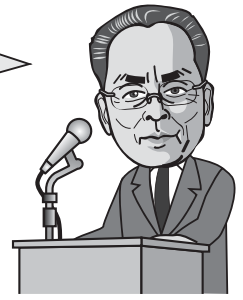
一般質問・・・・・・・・・・P10～14

研修・視察・・・・・・・・・・P16～P17

住民の声 女性消防部・・・・・・・・・・P18



the most beautiful
villages
in japan



私より
諸般報告をします。

はじめに5月13日に弟子屈町で開催した、釧路町村議会議長会5月定例会について報告します。

管内の議長・事務局長が全員出席する中、次の内容について協議しました。

平成25年度決算は、歳入が321万円、歳出が303万円となり、差引18万円ほどが次年度の繰越金となりました。

次に10月23・24日の2日間、川湯温泉で開催される管内議員研修会の講師に、全日空釧路支店長

の井上氏・コープさっぽろ役員の永田氏・道議会事務局長の村川氏の3氏に講演依頼することになりました。

次回、8月定例会の日時および場所については、8月8日午後1時30分から鶴居村で開催されることで承認されました。

次に6月5日札幌市で開催の第65回北海道町村議会議長会定期総会について報告します。

全道の町村議会議長・副議長144名が出席しました。平成26年度事業計画ならびに歳入歳出予算は、それぞれ6300万円とすることで承認されました。

その他、各地区議長会からの提出課題と特別決議などが承認されました。

また、平成26年自治功労者表彰が行われ、227名の方が受賞されました。

本議会からは、松井議長が議長在任7年、大津副議長が議員在任15年表彰を受けました。



以上で釧路町村議会議長会5月定例会および第65回北海道町村議会議長会定期総会についての報告とします。

広域事務組合 議会報告

釧路公立大学3月定例会

松井(洋)議員より、「平成26年度釧路公立大学事務組合一般会計予算」について、原案通り可決決定された報告がありました。

釧路北部消防事務組合 第1回臨時会

及川議員より、「事務組合規約変更」2件、「公平委員会委員の選任」3件、「条例の改正」2件、と「平成26年度釧路北部消防事務組合一般会計補正予算」について、原案通り可決決定された報告がありました。

釧路北部消防事務組合 視察研修

釧路北部消防事務組合議会は7月14日から4日間、宮城・岩手両県を視察しました。鶴居村からは吉田以下3名の議員が、標茶・弟子屈両町議とともに総勢11名が参加しました。



石巻市・旧大川小学校



女川町・高台移転事業



陸前高田市
平地かさ上げ事業

災現場と石巻地区広域事務組合消防本部で、東日本震災時の対応を伺いました。



気仙沼市・旧気仙沼向洋高校

翌日、岩手県遠野市で災害時の後方支援の行動体制を伺い、陸前高田市の復興の様子や気仙沼市の被災現場を視察しました。
東日本震災の経験と、標茶・弟子屈両町議との交流など有意義な視察になりました。

視察先は、まず宮城県女川町・石巻市の被



人事異動

新規採用職員2名の配置や北海道への研修派遣など、4月1日付けで教育委員会を含む人事異動4件と、「釧路北部消防事務組合鶴居消防署」に、5月1日付けで本村出身、加藤大輝（21歳）を新規採用しました。

平成25年度各会計決算

5月31日で、平成25年度の一般会計をはじめ6特別会計の出納事務を閉鎖し、今後、会計管理者より決算書の提出を受け、監査委員による審査を受けた後、9月定例議会で決算報告することとします。

地域おこし協力隊員

今年度より新たに取引組む「鶴居村地域おこし協力隊員」の採用については、全国各地より応募がありました。

書類選考・面接試験を実施し、7月1日より来年3月末までの期間、非常勤特別職の立場を与え、その後の継続任用も視野に入れながら採用することになりました。

採用者の氏名は、増田喜美子、札幌市豊平区福住からの転入です。



増田喜美子さん

採用する隊員には、村づくりの新たな戦力として、積極的に地域や団体活動、各種行事などに足を運び、地域活性化の一役を担っていただきます。

下幌呂消防部、ならびに 女性消防部



下幌呂消防部

鶴居消防団の第1分団下幌呂消防部、ならびに女性消防部の発足任用式が4月27日（日）に行われました。

下幌呂地域に設置した鶴居消防団第1分団下幌呂消防部は、地域人口の増加に対応するため、10名で組織されました。

同時に全村域を対象とした女性消防部も新たに発足し、6名の新規団員を任用し、高齢者をはじめとする災害弱者への消防活動など、ソフトな女性ならではの活動を期待しています。

太陽光発電

株式会社アドバンテックが、建設準備を進めていた太陽光発電施設建設のための鉄入れ式が、5月9日（金）に現地で行われました。

発電出力は750キロワット、年間82万5000キロワットの売電を見込む予定で、山名正英社長からは、これを機会に再生可能エネルギーに関する提案や助言、さらには村への支援などの考えも表明されたところです。



地鎮祭

道州制問題

去る5月24日（土）、道町村会、ならびに道町村議会議長会共催による「道州制問題を考える緊急集会」が札幌市で開催され、

向け、今国会での法案提出の動きが見えてきたことから、断固反対の緊急集会が開催されました。

「日本で最も美しい村」連合理事会、定期総会、戦略会議

5月29日、30日の両日、京都府伊根町で開催された「日本で最も美しい村」連合、理事会、定期総会、ならびに戦略会議に出席しました。

総会では、加盟町村の首長等が出席する中、平成25年度事業報告、ならびに平成26年度事業計画などの審議を行ったのち、全村避難を続ける福島県飯館村へ全国ネットワークを活かした総合支援を行うこととしました。

戦略会議では、私が進行役を努め、本村のチーフズを取り上げ「鶴居村酪農と食」について、事例報告を行い、グループ討議を行いました。なお、今回の定期総会で、私が北海道ブロック代表の連合理事として選

本州在住鶴居会

19回目の開催となりました。本州在住鶴居会が東京都で開催され、私と松井議長、国安教育長、中尾企画財政課長の4名が出席し、村の近況などを報告しながら、会員との情報交換や親睦交流を図ってきました。

交流会の席上では、出席者の皆さんからタンチョウ保護活動の一部として金銭の寄付をいただき、帰村後、鶴居村タンチョウ愛護会に寄付金を採納しました。



本州在住鶴居会



6月定例会議案審議

第2回定例会は6月18日に開会し、19日に閉会しました。

村からは、一般会計と国民健康保険特別会計の補正予算、条例の改正・制定、規約の変更、専決処分の承認、委員の選任・推薦が上程され、すべての議案を可決しました。また、議員提出議案として意見書2件を提出し、可決しました。

平成25年度補正予算

・一般会計補正予算

1億1864万円を追加し、総額37億4552万7千円。

基金の合計額

	平成24年度末	平成25年度末	増 減
基金	26億3565万円	27億 290万円	6725万円増
備荒資金	39億 950万円	42億 916万円	2億9966万円増
合計	65億4515万円	69億1207万円	3億6692万円増

平成26年度補正予算

・一般会計補正予算

2792万3千円を追加し、総額39億4092万3千円。

・国民健康保険特別会計補正予算

266万7千円を追加し、総額3億6416万7千円。

基金は69億円に！

平成25年度一般会計補正予算は、決算見込みによる、余剰金などを基金に積み立てる補正です。今回の補正で基金の合計は前年対比3億6千万円増の69億円となりました。

鶴居中学校が

道徳教育推進校に！

31万円

文部科学省と北海道による「道徳教育推進校」に鶴居中学校が指定されました。道徳教育の調査研究、授業実践、研究会への参加などの経費です。

タンチョウピザボール

2000食を札幌ドームで販売！

80万円

北海道日本ハムファイターズの北海道179市町村応援大使事業として、7月11日から13日の3日間、試合開催時に札幌ドーム前で、道内各地のグルメや名物を紹介する「第5回なまらうまいっしょ！グランプリ」が開催されました。

本村からは、商工会青年部のタンチョウピザボール2000食を販売しました。

新幌呂の井戸を1基新しく！

1500万円

新幌呂にある2基の井戸のうち1基が、水の濁りで使用出来なくなったため、新たに1基作りま

固定資産評価審査委員会委員を全員賛成で選任！

松井 基廣氏(新任)

任期3年 61歳



固定資産評価審査委員会は市町村に置かれる行政委員会です。

その職務は、別に法律の定めるところにより、市町村長とは独立した中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査および決定その他の事務を行います。委員会は3人体制で、菱沼岩男氏、石脇征次郎氏が昨年選任されています。



振興公社の運営状況

平成25年度は、731万円の純利益となりました。

また、年々積みあがっていた繰越金を別途積立金とし、積立金総額は4000万円となりました。

損益計算書

(単位：円)

科 目			平成25年度	平成24年度	前年度比較
売上高	委託事業料売上（芝生・施設管理など）	A	51,992,850	56,119,350	▲ 4,126,500
	公社運営売上（乗馬・チーズ売上など）	B	80,110,347	79,971,325	139,022
	指定管理料（村より）	C	24,320,000	24,320,000	0
売上原価	期首棚卸高（年度当初の在庫）	D	4,528,917	3,733,985	794,932
	公社管理運営部門原価	E	117,489,670	120,832,858	▲ 3,343,188
	期末棚卸高（年度末の在庫）	F	▲ 3,582,137	▲ 4,528,917	946,780
売上総利益 [(A+B+C) - (D+E+F)]		G	37,986,747	40,372,749	▲ 2,386,002
事業管理費	事業管理費（人件費など）	H	25,389,023	23,716,134	1,672,889
営業利益 [(G-H)]（事業での利益）		I	12,597,724	16,656,615	▲ 4,058,891
営業外収益	受取利息	J	170,042	63,337	106,705
	雑収入	K	1,445,720	2,027,943	▲ 582,223
営業外費用	退職給付引当金繰入損（退職金積立）	L	2,694,488	▲ 3,833,015	6,527,503
経常利益＝税引前当期純利益 [I + (J+K) - L]		M	11,518,998	22,580,910	▲ 11,061,912
法人税住民税及事業税（支払った税金）		N	4,199,500	5,857,800	▲ 1,658,300
当期純利益 [M-N]（最終的な利益）		O	7,319,498	16,723,110	▲ 9,403,612

順調に事業推進！

平成25年度は、春先からの天候不順、最盛期は雨天に見舞われ、主要事業のパークゴルフ場は売上、客数ともに前年を下回る結果になりましたが、運動広場は30周年記念行事により、前年よりわずかですが上回る結果となりました。お客様に喜んで利用していただける施設管理に努めるとともに、事業推進に取り組みました。

「酪楽館」事業では、「第9回ALL JAPAN チュラルチーズコンテスト」で鶴居シルバークラブルが連続金賞に輝きました。酪農家ならびに関係する方々に感謝申し上げます。また、新製品フレッシュチーズの販売を始めましたが、チーズ販売全体では前年をわずかに下回る結果となりました。

「酪楽館」事業では、「第9回ALL JAPAN チュラルチーズコンテスト」で鶴居シルバークラブルが連続金賞に輝きました。酪農家ならびに関係する方々に感謝申し上げます。また、新製品フレッシュチーズの販売を始めましたが、チーズ販売全体では前年をわずかに下回る結果となりました。



振興公社の仕事

指定管理事業	鶴居運動広場
	鶴居どさんこ牧場
	鶴居村パークゴルフ場
管理委託事業	村有施設芝生管理
	幌呂パークゴルフ場ほか維持管理
	役場・総合センター花壇管理
	鶴居市街公園ほか維持管理
	総合センター管理
	「酪楽館」管理
	ふるさと情報館花壇管理
直営事業	ファミリースポーツセンター管理
	ビニールハウス施設
	タンチョウ販売
	その他直営
	DVD販売



一般会計補正予算

Q&A

ここが聞きたい

振興公社経営報告

松井洋和議員

問 今回、3000万円を積み立てし、別途積立金が合計4000万円になりました。この積立金の目的は？

答 特定の目的は定めていませんが、経営の健全化や新製品開発など、幅広く有益な使途を考えています。

松井広道議員
問 酪楽館でチーズの在庫が減少し、品切れしているときもあると聞きます。新製品の開発も大切ですが、適正な在庫も大切では？

答 製造技術者として新卒を1人採用し、3人体制で増産していますが、製造には技術の習得期間や熟成期間がかかるので、多少時間を要します。

吉田保博議員

問 鶴居村の特産品開発はとても重要ですが、

思い切った展開も必要だと思いますが、公社の考えは？

答 特産品開発は内部でも協議しています。

今年はいスクリームの販売を予定していません。情報収集に努めながら前向きに展開したい。



松井洋和議員

問 「酪楽館」でアイスクリームの製造許可を取得しますが、どのようなアイスクリームを販売する予定ですか？

答 色々な試作品を作っていますが、生乳をいかけた無添加物で自然な味を目指しています。

移住体験住宅の条例

佐藤吉人議員

問 条例には入居期間について書かれていますが、入居期間については？

答 条例とともに、詳細な利用規定を定めた規則を作ります。基本的には入居期間は1ヶ月以上2ヶ月以内と定める予定です。

秋里広志議員

問 「住宅の管理を適当と認める者に委託することが出来る」とありますが、その内容は？

答 全国の事例を参考に、住宅の管理や環境整備を、それに適した業者に委託することができるという規定を設けました。黒松内町では管理組合に全面的に委託しています。

村有住宅の工事を監理委託？ 105万円

及川満浩議員

問 村有住宅3棟の工事監理を外部に委託しますが、外部委託する理由は？

答 有資格者の建設課職員が6月末で退職することになったので、設計事務所へ工事監理を委託するための計上です。

問 今後、新たな有資格者の採用については？

答 現状の建設業界では、今すぐの有資格者の採用は困難ですが、技術者の配置に努めます。



有資格者の確保は？

吉田保博議員

問 今回は同等の有資格技術者の採用は困難とのことですが、国家資格をはじめ色々な資格を持った職員が庁内にも多くいると思います。今後、有資格者への対応についてどのようになっていますか？

答 人事、採用に関わるので詳細は控えますが、建設行政の体制として内部技術者の確保をめざしたい。

大津泰則議員

問 現状、専門資格を持った職員と一般職員の給与差がない状態ですが、有資格者への配慮についてどう考えますか？

答 国の人事院勧告に準じて、一般行政職と医療職（医師）の2種類のみとなっています。建築士以外にも資格を持った職員がいるので、配慮については慎重にならざるをえないと考えます。



一般会計補正予算

Q&A あれこれ

下幌呂新分譲地の
下水道の設計変更は？

210万円

及川満浩議員

問 下幌呂の新分譲地の下水道整備の設計変更をする理由は？

答 新分譲地全70区画分の下水処理能力が、既存の処理施設には無いため、当初、集合型の合併浄化槽で処理する予定でしたが、国、道の許可基準により、今回の工事区画分は既存の排水処理施設を使用することになりました。その設計変更の計上です。



佐藤吉人議員

問 国、道の許可基準により設計変更となりましたが、当初、コンサルタント会社に委託して進めていたはずですが、なぜ変更になった？

答 集合型の合併浄化槽は、すでに他に事例があり、村が設計事務所に依頼しました。今回は国、道の許可基準の変更によるものです。今後は、処理施設の機能診断や最適化整備構想計画を行い、戸数が増えてきた段階で排水処理施設を改修する予定です。



佐藤吉人議員

問 釧路湿原流域ガイドマップ「鶴居版」を500冊購入しますが、用途は？

答 村内外のイベントや、北海道日本ハムフアイターズの応援大使関係、美しい村関係などで活用してPRに努めます。



及川満浩議員

問 感染力の高い牛サルモネラ症の拡大防止のための補助を行いますが、農家の出入り口の消石灰への助成も必要では？

答 家畜伝染病自衛防疫組合で、消石灰などの防疫資材配布を年間80万円で実施しています。

及川満浩議員

問 北海道教育委員会による全道的な虫歯予防策として、小学校でフッ化物洗口を実施する経緯は？

答 北海道はフッ化物洗口を重点事業として取り組んでいます。今回、本村の小学校が実施校に決定されました。

問 フッ化物洗口を国は積極的に推奨していないと思うのですが？

答 推奨はされていませんが、近年はフッ化物の虫歯予防効果が注目されています。



松井洋和議員

問 鶴居中学校が「道徳教育推進校」に指定されましたが、その内容は？

答 文部科学省と北海道から委託された事業です。

本村の教育方針として、「豊かな心」を育てることは、全ての基本につながる最重要と位置付けています。各学校には道徳教育の中心となる道徳推進教師がいます。鶴居中学校は今年度、「自己を見つめ、よりよく生きようとする力を育む道徳教育」を研究主題に、理論研究、実践と検証、授業公開などを行います。



「豊かな心」で道徳教育



意見書

国へ提出



「規制改革公議 意見書」

提出者 東 隆行
賛成者 佐藤吉人
及川満浩

松井洋和

5月22日に、政府の規制改革会議は「農業改革に関する意見書」を発表しました。六月中旬に最終的などとりまとめを行い、「農林水産業・地域の活力創造プラン」の改訂に反映させます。

今回の意見書に盛り込まれた農業委員会制度の見直しや農業生産法人の大幅な要件緩和等は、地域農業の姿を大きく変容させるとともに、農業協同組合制度の見直しについては、JAグループを事実上解体に追い込む内容であり、農業者、地域住民、国民生活に重大な支障をきたすことが懸念されます。

つきましては、下記のとおり要請しますので、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

「農林水産業・地域の活力創造プラン」改訂にあたっては、真に農業者の所得向上・地域生活インフラの維持向上・国民に対する食料供給の安定確保・農地の適正利用に資する観点から規制改革会議の意見書を取扱うこと。

「炭鉱技術海外 移転事業の推進に 関する意見書」

提出者 松井洋和
賛成者 東 隆行
佐藤吉人

及川満浩

先に示された国の「エネルギー基本計画」では、石炭は安定性・経済性に優れた、我が国にとって重要なエネルギー源の一つとして位置付けられている。

平成24年度から実施されている「産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業」による我が国の海外採炭国への技術移転研修事業は、我が国の石炭の安定供給確保に貢献する重要な役割を果たしている。

また、釧路コールマインは、炭鉱の生産体制を支える地元業者との事業取引や従業員の雇用を通じて、釧路市を中核とす

る管内広域圏にも経済的効果を及ぼしております。よって、次の取り組みに関して所要の予算確保と研修炭鉱に対する支援措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 我が国への海外炭の安定供給の着実な確保を目指し、炭鉱技術の海外移転事業を、平成27年度以降も長期的に推進・継続すること。
- 2 本事業における技術移転研修対象国を拡大すること。
- 3 環境対策、選炭技術、効果的な石炭生産に関する総合的な研修内容にステップアップするため、研修カリキュラムの拡大・充実を図ること。

JAグループの存続を





第2回臨時会

4月21日に第2回臨時会を開会しました。

契約の締結

● 歯科診療所のレントゲンシステムが導入から16年が経過し、修理部品の提供がなくなり、医療機器として維持することが困難になったための購入契約です。

● 鶴居中学校の教育用コンピュータが導入から6年が経過し、教育用機材としての機能を十分に果たせないための購入契約です。

● 審議・採択の結果、**全員賛成で可決**しました。

● 財産の取得で予定価格が700万円を超えるものは議会の議決が必要です。

契約の目的：鶴居歯科診療所医療機器購入
(デジタルX線システム)
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：7,754,400円
契約の相手：D.U.S. 株式会社
釧路市昭和中央1丁目2-1

契約の目的：鶴居中学校教育用
コンピュータ機器購入
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：7,776,000円
契約の相手：株式会社 ポータス
釧路市鳥取南5丁目12-5



問 鶴居中学校のコンピュータ購入の落札率と内容は？

答 落札率は62・6%となっています。

内容はデスクトップパソコンが29台とノートパソコンが3台、ソフトウェアやプリンターなどの周辺機器の購入です。OSは「ウィンドウズ7」です。

問 OSは「ウィンドウズ7」とのことですが、「ウィンドウズ8」でないのは？

答 教育用ソフトには「ウィンドウズ7」対応もあり、順応性を考慮して選定しました。

第3回臨時会

7月8日に第3回臨時会を開会しました。

契約の締結

● 下幌呂地区に定住人口を増やすなどの目的で、夢の杜団地に続き新たな分譲地を造ります。今回は全70区画中26区画分の造成工事となります。

● 審議・採択の結果、**全員賛成で可決**しました。

● 下幌呂小学校を増改築します。音楽室、家庭科室、図工室などを、旧体育館を取り壊して建築します。

● 新分譲地造成工事の落札率と、この工事は当初予算では2億400万円でしたが内訳は？

答 落札率は約95%です。今回の工事は造成工事、このほかに道路舗装工事、上下水道工事などがあります。

契約の目的：下幌呂公共用地
新宅地分譲地造成工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：92,880,000円
契約の相手：株式会社 佐々木建設
鶴居村鶴居西8丁目9番地

契約の目的：下幌呂小学校校舎増築
建築主体工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：86,130,000円
契約の相手：株式会社 山口工務店
鶴居村鶴居南3丁目3番地



問 下幌呂小学校増築工事の落札率と、この工事は当初予算では1億2800万円でしたが内訳は？

答 落札率は約95%です。この工事のほかに電気設備工事、機械設備工事、解体工事、給食室などの改造工事があります。

問 下幌呂小学校校舎増築工事の落札率と、この工事は当初予算では1億2800万円でしたが内訳は？

答 落札率は約95%です。この工事のほかに電気設備工事、機械設備工事、解体工事、給食室などの改造工事があります。



一般質問

村政のここを問う

5人の議員が15項目の質問

「子育て専用住宅」が必要では？

専用住宅の建設は考えていません！



松井洋議員

子育て支援として、「子育て専用住宅」を建築する自治体があります。

この住宅は自治体が運営し、子どもの人数が多いほど家賃が安くなり、

下の子どもが高校卒業時に退去するようなシステムとなっているようです。

道内では愛別町がテラスハウス形式の子育て住宅を運営しています。

「教育の鶴居」として注目され、「子ども・子育て

て会議」によりさらに充実した支援策を策定しようとしている鶴居村には、

子どもを増やす施策として

ともにも有効な手段だと思

いますが、村長の考えを伺います。

大石村長

村としても、近年の公営住宅などの建設には、

子育て世帯や、高齢者の在宅介護などに対応できる住宅を目指して建設しています。

「子育て専用住宅」は、道内では愛別町が平成22年度から専用住宅1棟、4LDK4戸の供与を開始しています。

始

自宅通学している大学生以下の子どもの数に応じた家賃の減額規定を設け、子どもがいなくなった場合は、退去の努力義務を負ってもらう内容となっております。

「子育て専用住宅」設

置後の心配として、子どもがいなくなったときに、借家人に退去する努力義務はあるものの、村が退去を求めているにもかかわらず、入居を希望する「子育て世帯」に対し物件の提供が出来ない事態や、「子育て世帯」で入居を希望する世帯が無い場合は、空き室になる可能性があります。

このようなことから、子育て支援の施策全体の中で考えた場合、「子育て世帯」に的を絞った専用住宅の建設は考えていません。

地域循環型エネルギーの活用は？

より具体的に組みたい！

松井洋議員

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」以来、原子力や化石燃料に頼らない地域の特色を活かしたエネルギーが注目されています。

エネルギー先進国のドイツでは、小規模なバイオガス発電が急速に普及しているようです。この場合、電力とともに熱を供給するコージェネレーションシステムを用いてエネルギーの有効活用をしています。

豊富な日照時間や広大な農地と森林に恵まれた本村の、エネルギーの現状と可能性についての考えを伺います。

大石村長

老朽化した役場庁舎暖房設備の改修のため、平成24年度に地域自然再生エネルギーの活用調査を行いました。

検証した結果、広大な森林を有する本村には、木質バイオマスが地域循環型エネルギーとして最も潜在力の高い資源であると確認されたところです。

しかし、他にも本村には有効な資源があると考えているので、全国各地の実践事例などを参考にしながら、地域循環型エネルギーの創出に向けて、より具体的に組みたいと考えています。

障がいを持つ子を育てる環境は？

組織体制を一層充実させ、特別支援教育を推進します！



国安教育長

佐藤議員

本村では障がいを持つ児童生徒が在籍する特別支援学級が各学校に設置されています。

4月に実施した総務常任委員会の意見交換会で、「障がいの程度によって、兄弟で同じ学校に通うことができないところも多のですが、鶴居村は素晴らしいと思う」というご意見がありました。

私も本村の障がいを持つ子を育てる教育環境は、小規模校や地域校の特徴の出たものであると常々思っています。この意見に対して教育長の感想を伺います。

特別支援教育では、その状況や特性に応じた対応や指導を講じていくことが、日常的に計画的に求められていて、その積み重ねが最終目標である「自立」そして「自立した生活」につながっていくことです。

今後も、特別支援教育を更に充実させるべく、村内外の組織体制を一層充実させ、特別支援教育を推進します。

老朽化した賃借物件のあつかいは？

今後、整備方針を決定したい！

佐藤議員

鶴居東一丁目には、旧

開発建設部農業監督員事務所や食堂、合宿所があります。どの建物も老朽化し、早晚、利用不能や危険建築物の可能性が大だと考えられます。これらの建物の今後について伺います。

大石村長

現時点では踏み込んだ方向性を出していません。

今後、老朽化する他の村有施設の在り方も早い段階で方向付けしなければならぬので、その中で今後の整備方針を決定したい。したがって、当面は現行のまま賃借物件として

位置付けていきます。



望まれる老朽化対策

補助金が増額された経緯は？

実績などを高く評価していただいた結果と認識！

佐藤議員

本村に過疎地域等自立活性化推進交付金が、5040万円交付と、新聞報道されましたが、新年度予算では下幌呂公共用地造成財源として、国庫補助金2500万円です。

今回確定したオーバー分の2500万円について、その内容と経緯の詳細を伺います。

大石村長

本件は予算編成時点から、交付金の満額交付は極めて厳しい状況であるとの情報があり、試算額の2分の1を計上しました。

結果的に申請額の満額が確保されたのは、これまでの事業実績や将来にわたる事業推進に高い評価をいただいた結果と認識しています。

北斗坂の路線改良への要望への対応は？

今後とも継続して要請を行ないます！

佐藤議員

昨年の村政懇談会の要望にも出ていましたが、

北斗坂の冬道の危険性は本村住民ばかりではなく、通行車両のドライバークラスと一致するところです。



この路線改良への要望に対して、村の回答は「関係機関に要請」となっていました。その内容と回答を伺います。

大石村長

北斗坂は産業と観光という両面性を持つことから、路線変更となった場合には本村と鉦路市の双方が管理者となり、多くの協議や調整事項があります。

道路管理者の道・鉦路建設管理部からは路線改良についての調査なども含めて検討するとの回答を得ていますので、村としては今後とも継続した要請活動を行ってまいります。



医療や福祉サービスなどへの交通費助成は？

制度の見直しなどを検討したい！



及川議員

現代社会には障がいや病気などの困難を抱えながら生活をしている人たちがいます。

地域の交通事情を配慮した対応が求められると考えますが、村の今後の対応を伺います。

大石村長

村内に対応可能な医療機関や福祉施設がないことから、近隣の自治体へ行かなければ必要な医療

銅路管内市町村の交通費の助成状況

市町村	特定疾患治療	小児慢性特定疾患治療	助成対象交通手段	助成割合	腎臓機能障がい者	重度心身障害者	タクシー
鶴居村	○	○	鉄道・バス	1/2		6,000円	タクシー
銅路市	○		鉄道・バス+自家用車	1/2		12,000円	タクシー+自家用車
銅路町	○		鉄道・バス+自家用車	1/2	○	8,000円	タクシー+自家用車
白糠町	○		鉄道・バス	1/2	○	6,000円	タクシー
標茶町	○		鉄道・バス	全額	○	12,000円	タクシー
弟子屈町	○	○	鉄道・バス+自家用車	2/3	○	6,000円	タクシー+自家用車
厚岸町	○		鉄道・バス	1/2		6,000円	タクシー
浜中町	○	○	鉄道・バス	2/3	○		

や福祉サービスを受けることができない方の交通費助成などの支援については、管内の状況を踏まえながら、制度の見直しも含め検討したい。また、日々苦勞されているとの生の声を受け止め、障害福祉計画策定に際しては、会議を構成する各関係団体の委員と十分に協議させていただき、反映させて行きます。

2040年の人口試算への認識と対応は？

早期対策が必要で、福祉・定住対策などを推進！

及川議員

「日本創成会議」の2040年の人口試算は大きな反響を呼びました。この試算の特色は、20〜30代女性が30年間で50%以下に減る自治体を「消滅可能性都市」と位置づけ、より実態を反映しようとしたことにあります。

鶴居村も46%減と厳しい数値ですが、今の現状認識と対応を伺います。

大石村長

少子・高齢化の対策は、早期対策が必要と認識しています。

今後重要課題として、これまでにも増した福祉施策の充実や、移住・定

住対策の推進強化などにより、時代に即応した取り組みを地域と一体となって推進します。

不明者の搜索体制の整備は！

関係機関との連携、体制整備を進める！

及川議員

認知症などの不明者の搜索が社会問題となっています。

今の現状は十分な体制を組まれていない印象ですが対応を伺います。

大石村長

今後、認知症対策としては、「鶴居村SOSネットワーク推進会議」の設置、認知症サポーターの養成を継続、地域住民や関係機関にSOSネットワークの普及啓発を図る

ことで、住民の認知症への理解や声掛け運動が広がる効果が期待されます。また、今後要綱を制定して村内の関係機関の円滑な連携をより一層図る体制整備を進めます。(7月1日付けで要綱制定済みです。)

公衆無線LANの整備は？

国や民間通信事業者などの動向を注視！

及川議員

防災、観光振興の両面から、村として公衆無線LANの整備が有効な施策と考えますが、対応を伺います。



大石村長

公衆無線LAN環境の整備は、今後の国や民間通信事業者などの動向を注視しながら観光・防災の両面から今後の方策について協議します。

放射性廃棄物の最終処分候補地への見解を？

答弁を控えさせていただきます！

及川議員

自民党の調査会にて放射性廃棄物の最終処分地候補地に、根釧海岸地域などの3地域を提示されましたが、村の見解を伺います。

大石村長

情報や正式な通知もないことから答弁を控えさせていただきます。

村内建設業界の現状と今後について

地元産業の振興と雇用の確保に最大限配慮する！



吉田議員

① 建設業界は、資機材・運賃・人件費などの単価高騰や、調達に難しい資機材もあり、工事や工期に支障をきたす場合も想定しているようですが？

② 工事の早期発注への対応は？

③ 工事契約に「インフレスライド条項」は盛り込まれていますか？

④ 工事には砂利は必要不可欠な資材ですが、村外からの調達では費用面で割高になります。村有未利用地から採取させる考えはありますか？

⑤ 村内の工事を村内土木建築業者が優先して受注出来るような仕組みを作ることに、村内業者の経営が安定し、雇用の拡大が図られ転入者の増加などにつながると思いますが？



設計変更などで対応

④ 村有未利用地からの砂利採取は、法規制・環境

現在、建設業界では、景気回復傾向により関連する人員、資材などの動きが活発化し、本村でも工事費、工事量ともに前年を大きく上回っています。

① 単価設定は道公共工事標準単価を使用し、変動などに対しても適時の対応がとられます。

また、資機材の調達は市場の状況に対応し、必要に応じ設計変更や工期に延長も含めた協議の中で対応しています。

② 各種工事の発注時期は工事内容を十分検討して適切な発注時期での対応をしています。

③ 「インフレスライド条項」は、契約条項に標準契約約款を使用し、国、道と同様に対応しています。

④ 村有未利用地からの砂利採取は、法規制・環境

大石村長

に適合する土地に対しての採取の申し出があれば検討します。

⑤ 村内の建設業者の優先受注については、従前から地元産業の振興と雇用の確保に最大限の配慮をする事で、地元経済の活性化に努めています。

成年後見制度の利用支援は？

4月に制定し、補正にて対応予定！

吉田議員

成年後見制度は知的障がい者などが財産管理などを代理人に委ねるものですが、障がい者自立支援法で、代理人への報酬などを助成する制度が平成12年度から市町村に義務付けられています。

本村は要綱や規則が未整備と報道されましたが、現状を伺います。

成年後見制度は知的障がい者などが財産管理などを代理人に委ねるものですが、障がい者自立支援法で、代理人への報酬などを助成する制度が平成12年度から市町村に義務付けられています。

本村は要綱や規則が未整備と報道されましたが、現状を伺います。

大石村長

当事業は、地域生活支援事業では、必須事業として位置付けられ実施が求められてきました。

本村は、道からの助言に基づき本年4月1日付けで「鶴居村成年後見制度利用支援事業実施要綱」を制定し、必要な体制を整えました。

内容は、鶴居村に居住する、判断能力が不十分な高齢者、知的障がい者および精神障がい者のうち、助成を受けなければ成年後見制度の利用が困難な状況にある方を対象とし、必要となる審判請求費用と、成年後見人などの報酬に係る費用を助成するものです。

現在は利用者がいないことから、予算計上は行っていないませんが、今後、利用必要者が現れたときには、補正予算の計上で対応したい。

財源は？	国1/2、道・市町村1/4の負担割合により実施し、補助対象経費は、審判請求費用と成年後見人報酬。
法人後見支援事業とは？	後見業務をできる法人を確保する体制の整備と、活動を支援する事業。
市民後見人とは？	親族や、弁護士など以外の一般市民による成年後見人のことで、市町村が行う養成講座を受講して家庭裁判所の後見人名簿に登録される必要がある。

〈費用助成〉

審判請求費用 (家庭裁判所)	収入印紙代	800~2,400円
	切手代	3,000~5,000円
	登記印紙代	4,000円
	鑑定料	50,000~150,000円
成年後見人報酬	施設入所者	月額 18,000円まで
	在宅者	月額 28,000円まで



再生エネルギーで
電力自給率100%の村を！

再生エネルギーの普及拡大を図ります。



大津議員

今年度、役場庁舎・総合センターの木質バイオマスによる薪ボイラー実設計委託料が計上されました。

このことは、CO2排出抑制効果と化石燃料に依存する度合いが減少し、購入コストが域内に留まることにより、経済効果が上がり、林業振興につながるものであります。今後は、村内の公共施設にも広げていただきます。そこで、再生可能エネルギー「太陽光発電・木質バイオマス・糞尿バイオマス」、これは鶴居村の地産地消エネルギーであり、私は環境にやさしく子ども達の将来のためにこれらを導入して電気の自給率100%を目指していただきたい。

特に、木質・糞尿は産業の活性化につながり、地域経済への効果が大きいと思えますので、考えを伺います。

大石村長

本村の再生可能エネルギー導入に係る取組みとしては、本年度、薪ボイラーの実設計業務に着手し、本格化してきたところです。

今後、地域循環型の再生可能エネルギーとして豊富な森林資源の効率的効果的な活用に、地域が

一体となって取り組むことにより、村内の生産性向上や経済効果に大きな期待を寄せています。公共施設にも広げることににつきましては、今後、その可能性を検証しながら広範にわたる再生エネルギーの導入の可能性について十分に検討したいと考えています。

また「太陽光発電、木質バイオマス、糞尿バイオガスの地産地消エネルギーの活用による、電気の自給率100%を目指していただきたい」と言うことについても同様に再生可能エネルギーの普及拡大を図りながら、民間企業への支援などによって、電力自給率の向上が図られることは極めて理想的であると考えています。



心豊かなふれあいを！

潤いのある芸術文化を多くの方に見ていただきたい。

大津議員

先日、幌呂在住の方の

絵画の個展に行きました。道展に入選された100号の「宮島岬」は、他を圧倒する素晴らしい迫りがありました。

そこで、本村には絵画や写真などで個展を開催し対外的にも高い評価を受けている方がいます。

是非、その方々の作品をもっと多くの村民に見ていただく機会をつくっていただきたい。

また、小中学生については、民間での優れた知識や技術を有する人材活用を取り組みとして、本物を見る機会を与えていただきたい。

そして、将来的には村

の貴重な財産として買い上げ、展示することをお願いしたいと思います。

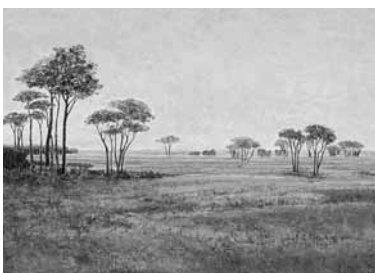
国安教育長

芸術文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらす、潤いのある心豊かな生活に資するものでありますし、「文化的資質を兼ね備えた人材(逸材)」を本村から輩出していることは村の大いなる誇りでもあります。

「村民への見ていただく機会」は、本人の了解をいただいで鶴居村文化祭が総合センターを会場に11月1日より3日まで開催されますので、鶴居村文化協会にお願ひし、作品を展示し、広く村民

の方々にご覧になっていただくようにいたします。「小・中学校への『出前授業』の件ですが、本人の意志や意向をお聞きした上で、村内の各学校の状況や予定を考慮・判断しながら相談させていただきます。

3点目につきましては、あくまでも本人の了解・承諾が大前提であります。展示場所の選定や長期にわたる保管場所の確保、そして、予算措置を伴いますので、理事者を含めて協議していきたいと考えますので、検討の時間をいただきたい。



画 渡辺 巖 氏



委員会報告

総務

本委員会は、平成26年第1回定例会で申し出た次の事項の調査を実施したので、報告します。

調査項目

- ①平成26年度所管事務調査計画について
- ②意見交換会(4/9)総括について

調査日

平成26年5月12日(月)
15時～16時

鶴居村子ども・子育て支援事業計画策定に係る中間報告について

担当課(保健福祉課)より経過報告を受ける。
(9月予定)



ほのぼのセンター

高齢化対策について

介護施設や老人保健施設などを視察し、今後の村の高齢化対策について調査する。(7月予定)

学校運営調査について

村内小中学校を訪問し運営状況を調査する。(8月予定)

第2回意見交換会について

子育て関連テーマで前回とは方向性を変えて開催する。(11月予定)

意見交換会総括について

議会広報のとおり(6月定例会には今後の展開を付して報告書を提出)

産業

調査項目

- ①平成26年度所管事務調査計画について
- ②意見交換会(2/17)総括について

調査日

平成26年5月12日(月)
15時～16時

平成26年度所管事務調査計画について

鶴居村観光振興ビジョン策定に係る中間説明聞き取りについて

コンサルタント業者にどのような内容で進むのか聞き取りする。

(7月中旬頃で内容説明会を予定)第1回策定委員会は5/26予定

新しい「と畜場」建設の件について

今後どのように進展(負担金等)するか議会として調査する。

乳質改善奨励補助金について

乳質改善奨励補助金に代わる補助金を検討する。

新規就農の件について

先進地研修やJAからの説明を受ける。

第2回意見交換会について

意見交換会を計画する。次回は若者の層を対象に(5～10人)で行う。

意見交換会(2/17)

総括について
議会広報のとおり

議長・議員が参加した行事



山口氏叙勲祝賀会



下幌呂・女性消防部発足式



村内運動会



地鎮祭



共進会



ために生かそう研修・視察

北海道町村議会研修

～議会改革のこれから～

7月4日に北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターにて開催されました。

はじめに法政大学教授の廣瀬克弥氏から「議会改革のこれから」をテーマに講演を受けました。廣瀬氏は地方議会・議会改革への造詣の深い方です。



廣瀬 克弥氏

長期にはいずれできた事業が、縮小期には先送りしても出来るようにはならないとしました。

また、厳しい取捨選択を迫られ、捨てる選択には市民の納得と協力がないと政策効果が期待できません。

このように現在は、制度が自治体に負わせた責任と課題の双方が、合議の裏付けのある自治体の意思決定を必要とし、それを担う場が議会であるとなりました。



議会改革の広がり、すでに普遍的な取り組みとなりましたが、大きな問題は議会が住民に見えていないために、決まった事への納得感が乏しいことです。住民の合意と

議会改革の背景として、完全自治体としての責任の発生と、人口・経済の縮小時代の自治体経営のあり方が問われていることを上げられました。

自治体は地方分権改革が進み自己決定権が拡大され、それに対する自己責任を負うこととなりました。

縮小時代とは先送りがきかない時代であり、成

協力がなければ効果的に実現できない政策課題が多い現代には致命的な問題です。議会と住民の距離は、住民の期待と議会の狙いがずれ違っているためであり、定数、報酬の削減ばかりが目立ったり投票率が下がり続けていることが象徴的です。

住民の期待とは、「議会が住民の声を吸い上げてくれる実感」としました。まとめとして、議会は首長のチェック役であり、裏付けと補完の関係です。そのために議会の戦略が必要で、どうやって議会の「機関意思」を固めていくかが重要となり、「一致しての議会の機関決定」を戦略として立てることの効果は絶大と表現しました。

最後に、議会は議決責任を果たし、住民に納得されている議会を実現して欲しいと訴えられました。



橋本 五郎氏

次に、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏から「これからの日本の政治」の講演を受けました。橋本氏は政治番組などでコメンテーターとして活躍しています。

橋本氏は、安倍首相の経済政策が地方の視点を欠いているとし、地方重視の政策転換を訴えました。



平成二十六年度
北海道町村議会議員研修会会場
北海道町村議会議員研修会



よりよい「むらづくり」の

先進地事例 視察報告

北海道町村議員研修会

(7月3日～5日)

研修地、(上士幌町、鹿追町、札幌市)

上士幌町

「ふるさと納税」と「ちよつと暮らし」

ふるさと納税制度は福井県知事西川一誠さんが提唱した「故郷寄付金控除」が発案原点者と言われています。

- 都市と農村の交流。
- 農商工連系・特産品開発。

● ICT(情報通信技術)の活用。

上士幌町は、この3つを融合させて、まず移住・定住・2地域居住で「ちよつと暮らし」から「ずっと」につながるようとしています。

優良な田園地域を体験



町長自ら説明

実感してもらい、移住定住促進のためにNPOを立ち上げ、Web上のモールからネット通販市場を展開させて、マスコミ利用によってふるさと納税を拡大してきました。さらに地場産品であるブランド肉を納税お礼に送付し、納税という形の地域産業を発展させています。

平成25年度寄付件数 13270件
 寄付金額 2億4330万円
 は道内トップ

鹿追町

バイオガスの利用
鹿追町環境
保全センター

鹿追町も酪農と畑作で年売上高が161億という純農村地帯である。

町内での家畜飼育頭数は2万頭を超えており、この家畜糞尿をバイオ燃料として環境・観光の両立を図るために平成19年度から同センターを稼働させているそうです。

まず町と畜産農家で利用組合を設立して、家畜糞尿の処理や引き取りをセンターで行い、農家さんには糞尿処理の手間を省き、なおかつ回収した糞尿はバイオガスを発生させてガスタービンを利用して発電(自家消費と売電)。さらにバイオガス発生後の固形分は堆肥化プラントに搬入して、生ごみ、



バイオガス発電機

下水汚泥、さらに事業系ゴミと攪拌して水分調整後切り返しを行い好気性発酵させてゴミや下水汚泥と攪拌、さらにコンポストプラントで固形堆肥として熟成散布、さらに嫌気発酵させた尿については直接畑に注入して、肥料として販売している。

下水汚泥、さらに事業系には、それをベースにして次へ展開をしながら有機的に事業展開をすることです。たいへん参考になりました。これは事業形態が酪農であろうと畑作であろうと、P・D・C・A(マネージメントサイクル)は産業展開としてはたいへん重要なことであるので、当村での基盤となるものを再点検する必要があります。と思われまます。



チウザメの水槽

この間に発電機などから発生させた熱源(コージェネレーション)を利用してハウス野菜試験やチウザメ飼育にも取り組んでいました。両町ともに共通しているのは、何かを始めた時



住民の声



鶴居女性消防部
部長 小泉きぬ子

私が生まれてから50数年のうち、この鶴居の地を離れたのは、高校に行くために下宿していた3年間だけです。だからここではありませんが、私はこの鶴居村が大好きです。

このおだやかな気候、充実している教育環境、子供の医療補助など子供を育てるにはもってこいの環境ではないでしょうか。医者がいない町村がある中、ずっとお医者さんがいてくれる、とてもありがたいことです。これは村職員の方や、議員

さんの頑張りのおかげかと思えます。

今年私は、消防の女性部員募集の際、やってみないかと、勧めてくださる方もあり応募しました。こんな年取ってるのに務まるのかと不安もありましたが、他の6名の若い部員の方々と知り合えたうえ、いろいろと刺激を受けています。

まず、今までの日常で背筋がぴんとするようなことなんてありませんでした。「気をつけ」、「前ならえ」、「まわれ右」、「右向け右」など時々、あれ？どっちだっけ、なんてこともありますが、みんな定期訓練に参加して頑張っています。男性消防団員の方々が、なんなく整列を行うのには、ただただ感心しています。

「やっていればできるようになるから」と言ってくれますが…。物の覚えが悪いのに、習っ



お願いします 安心・安全



たことを忘れるのは早くなる年頃、皆の足手まといだけにはならないようにしなくては、これが今の私の正直な気持ちです。

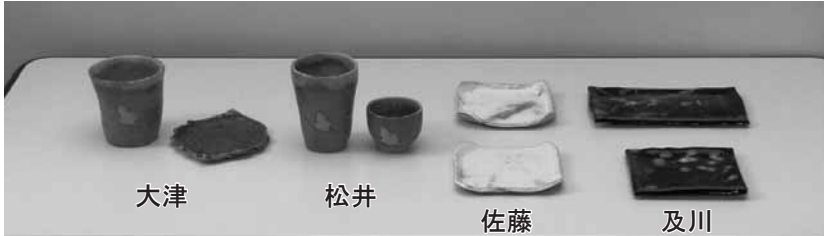
これから女性消防部員が、消防のイベントなどのお手伝いに地域に行くことがあると思います。みなさん気さくに声をかけてください。なか気づいたことがあったら教えてください。そんな中で「火には気をつけましょうね」とお互いに言い合えるようになれば、なによりです。消防署員の方々が、日々鍛錬されている姿を見ると当たり前、前といえばそれまでですが、頭が下がります。

そんな忙しい日々を送っている消防の方々に指導いただいている、できたの女性消防部。少しでも村民のみなさんのお役に立てればと思っています。末永くよろしくお願ひいたします。

広報委員会			
委員長	大津 泰則	副委員長	佐藤 吉人
委員	及川 満浩	委員	松井 洋和



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。



趣きのある陶芸が出来上がりました。

つるい議会だより 平成26年7月31日発行 142号

発行 北海道鶴居村議会 085・1203 鶴居村鶴居西1・1
編集 広報調査特別委員会 0154・64・2511